

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ
設置者名	学校法人KBC学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
	エアラインビジネス科(2年制)	夜・通信	323	160	
	エアラインビジネス科(3年制)	夜・通信	394	240	
	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース	夜・通信	208	160	
	エアポートビジネス科 エアカーゴコース	夜・通信	208	160	
	ホテル・ブライダル科 ホテルリゾートコース	夜・通信	200	160	
	ホテル・ブライダル科 ブライダルコース	夜・通信	184	160	
	外語ビジネス科	夜・通信	268	160	
(備考) 外語ビジネス科はグローバルビジネス科より名称変更。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 https://www.irc.ac.jp/information/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ
設置者名	学校法人KBC学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上において公表 http://www.kbcgroup.jp/public/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和5年4月 1日～令和8 年3月31日	学園運営に対する 助言・コンプライア ンス
非常勤	学校法人役員	令和5年4月 1日～令和8 年3月31日	学園運営に対する 助言・コンプライア ンス
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ
設置者名	学校法人KBC学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○教育課程編成計画 (カリキュラム)</p> <p>毎年 9 月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識；技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。2 月に第 2 回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画 (シラバス)</p> <p>上記により確定したカリキュラムを元に 3 月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p> <p>○公表</p> <p>確定したカリキュラム及びシラバスを学校HPにて公開し学生へその旨告知を行う。(4 月)</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.irc.ac.jp/information/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、講義科目については、科目担当教員が定期試験、中間試験、レポート、受講状況などを総合的に判断し評価を行う。ただし、演習及び実験・実習についてはレポート及び受講状況によって評価し、実技については実技能力及び受講状況で評価しています。卒業研究については、研究態度及び成果発表、研究進行度を総合的に評価しています。各科目の評価方法は、それぞれのシラバスに掲載しています。</p> <p>科目の出席状況の基準として 80%以上を対象とし、それ未満の場合は評価の対象外とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。</p> <p>G P Aの算出式は下記に示すとおりです。</p> <p><1>試験得点に応じて5段階(3.0、2.0、1.0、0)の数値(グレード・ポイント)を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが0点となります。</p> <p><2>各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものがG P Aとなります。</p> <p>成績評価基準及びG P A算出方法を学校H Pにて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公開 https://www.irc.ac.jp/information/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。</p> <p>卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。</p> <p>学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともにH Pでも公開を行う。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公開 https://www.irc.ac.jp/information/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専修学校インターナショナルリゾートカレッジ
設置者名	学校法人KBC学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kbcgroup.jp/public/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kbcgroup.jp/public/
財産目録	http://www.kbcgroup.jp/public/
事業報告書	http://www.kbcgroup.jp/public/
監事による監査報告（書）	http://www.kbcgroup.jp/public/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインビジネス科（2年制）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1, 842 単位時間/単位	1,718 単位時間/単位	187 単位時間/単位	348 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2, 253 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		30人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○教育課程編成計画（カリキュラム） 毎年9月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。 1月に第2回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。
○授業計画（シラバス） 上記により確定したカリキュラムを元に2月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。 GPAの算出式は下記に示すとおりです。 <1>試験得点に応じて5段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイン

トが0点となります。 <2>各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものがGPAとなります。 成績評価基準及びGPA算出方法を学校HPにて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。
卒業・進級の認定基準
(概要) 各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。 卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。 学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともにHPでも公開を行う
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	27人 (93.1%)	2人 (6.9%)
(主な就職、業界等) JALスカイエアポート沖縄、ANA沖縄空港、ANA成田エアポートサービス、那覇空港コーディアルサービス、ハレクラニ沖縄、ヒルトン沖縄北谷リゾート 他			
(就職指導内容) ビジネスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職相談			
(主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定準2級、マナープロトコル検定3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	6人	13.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

① 学科等の情報（２）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインビジネス科（３年制）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2, 720 単位時間／単位	2, 194 単位時間／単位	338 単位時間／単位	588 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			3, 120 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
58人		35人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○教育課程編成計画（カリキュラム） 毎年９月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。 １月に第２回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画（シラバス） 上記により確定したカリキュラムを元に２月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。 G P Aの算出式は下記に示すとおりです。 〈1〉試験得点に応じて５段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが0点となります。 〈2〉各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものがG P Aとなります。 成績評価基準及びG P A算出方法を学校H Pにて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。 学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともにH Pでも公開を行う</p>
学修支援等
<p>（概要）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (0%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） スカイマーク、日本トランスオーシャン航空、JALスカイエアポート沖縄 他			
（就職指導内容） ビジネスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 実用英語技能検定2級、マナープロトコール検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	2人	4.0%
（中途退学の主な理由） 体調不良、進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

① 学科等の情報（3）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアポートビジネス 科グランドハンドリ ングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1, 872 単位時間/単位	1,642 単位時間 /単位	162 単位時間 /単位	410 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2, 214 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人の内数		26人	0人	2人	4人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○教育課程編成計画（カリキュラム） 毎年9月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。 1月に第2回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画（シラバス） 上記により確定したカリキュラムを元に2月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。 GPAの算出式は下記に示すとおりです。 〈1〉試験得点に応じて5段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが0点となります。 〈2〉各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものがGPAとなります。 成績評価基準及びGPA算出方法を学校HPにて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。 学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともにHPでも公開を行う</p>
学修支援等
<p>（概要）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） JALグランドサービス、JALスカイエアポート沖縄、インテックス、 コウノイケ・エアポートサービス			
（就職指導内容） ビジネスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職 相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） IATAディプロマ基礎、航空特殊無線技士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	2人	8.7%
（中途退学の主な理由） 体調不良、進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

① 学科等の情報（４）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアポートビジネス 科エアカーゴコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1, 872 単位時間／単位	1,658 単位時間 ／単位	162 単位時間 ／単位	376 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2, 196 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人の内数		12 人	0 人	2 人	4 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○教育課程編成計画（カリキュラム） 毎年 9 月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。 1 月に第 2 回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画（シラバス） 上記により確定したカリキュラムを元に 2 月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。 G P A の算出式は下記に示すとおりです。 〈1〉試験得点に応じて 5 段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが 0 点となります。 〈2〉各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものが G P A となります。 成績評価基準及び G P A 算出方法を学校 H P にて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。 学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともに H P でも公開を行う</p>
学修支援等
<p>（概要）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	5人 (72.7%)	1人 (27.3%)
（主な就職、業界等） 東京国際エアカーゴサービス、インテックス、琉球通運、琉球物流			
（就職指導内容） ビジネスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） IATAディプロマ基礎、貿易実務検定C級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

① 学科等の情報（５）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科ホテルリゾートコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1, 852 単位時間/単位	1,326 単位時間/単位	77 単位時間/単位	781 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2, 184 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人の内数		11 人	0 人	2 人	4 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○教育課程編成計画（カリキュラム） 毎年 9 月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。 1 月に第 2 回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画（シラバス） 上記により確定したカリキュラムを元に 2 月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。 G P A の算出式は下記に示すとおりです。 〈1〉試験得点に応じて 5 段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが 0 点となります。 〈2〉各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものが G P A となります。 成績評価基準及び G P A 算出方法を学校 H P にて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。 学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともに H P でも公開を行う</p>
学修支援等
<p>（概要）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ハレクラニ沖縄、ホテルコレクティブ、ノボテル沖縄那覇、セントレジス大阪、 コウノイケ・エアポートサービス、ジェイ・エス・エス、他			
（就職指導内容） ビジスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職 相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） レストランサービス技能検定、ホテル実務技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

① 学科等の情報（6）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科ブライダルコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1, 835 単位時間／単位	1,375 単位時間 /単位	336 単位時間 /単位	466 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,177 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人の内数		17 人	0 人	2 人	4 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○教育課程編成計画（カリキュラム）</p> <p>毎年9月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。</p> <p>1月に第2回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画（シラバス）</p> <p>上記により確定したカリキュラムを元に2月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。</p> <p>GPAの算出式は下記に示すとおりです。</p> <p><1>試験得点に応じて5段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが0点となります。</p> <p><2>各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものがGPAとなります。</p> <p>成績評価基準及びGPA算出方法を学校HPにて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。</p> <p>学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともにHPでも公開を行う</p>
学修支援等
<p>（概要）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) グッドラック・コーポレーション、ブライダルハウスチュチュ沖縄、 千代田ブライダルハウス、キモノハーツ沖縄、アイネスヴィラノッツェ沖縄 他			
(就職指導内容) ビジネスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職 相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) ブライダルコーディネーター技能検定3級、ドレスコーディネーター認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

① 学科等の情報（7）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	外語ビジネス科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1, 843 単位時間／単位	1,710 単位時間 ／単位	449 単位時間 ／単位	431 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2,159 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25人		17人	1人	3人	2人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○教育課程編成計画（カリキュラム）</p> <p>毎年9月に教育課程編成委員会を開催。業界動向、国及び地方の産業振興の動向、必要となる実務に関する知識・技術等について教育課程の方向性について意見を聴取する。その後学内検討委員会にて次年度計画を策定。</p> <p>1月に第2回教育課程編成委員会を開催し修正し委員会承認とする。委員会承認内容を校長にて確認後決定とする。</p> <p>○授業計画（シラバス）</p> <p>上記により確定したカリキュラムを元に2月までに授業計画を各教科担当にて作成。その後学科長及び校長にて内容を確認後決定とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習意欲の把握、試験やレポート、作品制作評価などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して履修を認定します。</p> <p>GPAの算出式は下記に示すとおりです。</p> <p><1>試験得点に応じて5段階（3.0、2.0、1.0、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、受講を途中でやめた科目や不合格となった科目はグレード・ポイントが0点となります。</p> <p><2>各履修科目のグレード・ポイントに、科目の時間数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の時間数の合計で割ったものがGPAとなります。</p> <p>成績評価基準及びGPA算出方法を学校HPにて公開し年度開始毎に学生へオリエンテーションにて開示を行います。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>各学科創設時に策定したディプロマポリシーを元に卒業の認定要件を設定している。卒業の認定要件に達しているかどうかの成績評価及び履修状況の確認を卒業判定会議にて確認し校長が卒業を認定する。</p> <p>学生へは年度開始毎にオリエンテーションにて開示し提示するとともにHPでも公開を行う</p>
学修支援等
<p>（概要）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	3人 (100%)	0人 (0%)	0人 (77.8%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） ビジネスマナーの指導、就職研修を通しての面接指導、キャリアサポーターによる就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 実用英語技能検定2級、実用英語技能検定準2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況悪化傾向にある学生のガイダンス・保護者面談の実施 心因性の場合は臨床心理士によるスクールカウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意 記載事項)
ホテル・ブライダル科 ホテルリゾートコース	100,000 円	720,000 円	0 円	
ホテル・ブライダル科 ブライダルコース				
エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース				
エアポートビジネス科 エアカーゴコース				
エアラインビジネス科(2年制)				
エアラインビジネス科(3年制)				
外語ビジネス科				
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.irc.ac.jp/information/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校が行う運営によって直接・間接的に影響を受ける企業や保護者等によって構成される委員を選定し、①教育理念、②教育の内容、③教育の実施体制、④達成度と教育効果、⑤学生支援、⑥社会的活動、⑦管理運営、⑧財務、⑨改革・改善の9項目102点検項目の評価結果に基づき学校関係者評価委員会を開催する。学校評価の結果をふまえ、中期経営計画、次年度業務計画策定時の改善に繋げる。自己点検評価、学校関係者評価報告書を作成しホームページにて公開する。また全職員で共有する機会を持つ事とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ANA沖縄空港株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
沖縄観光コンベンションビューロー	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
沖縄B.M.C.(全国宴会支配人協議会)	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
公益財団法人 青年海外協力協会	令和5年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.irc.ac.jp/information/		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.irc.ac.jp/information/>